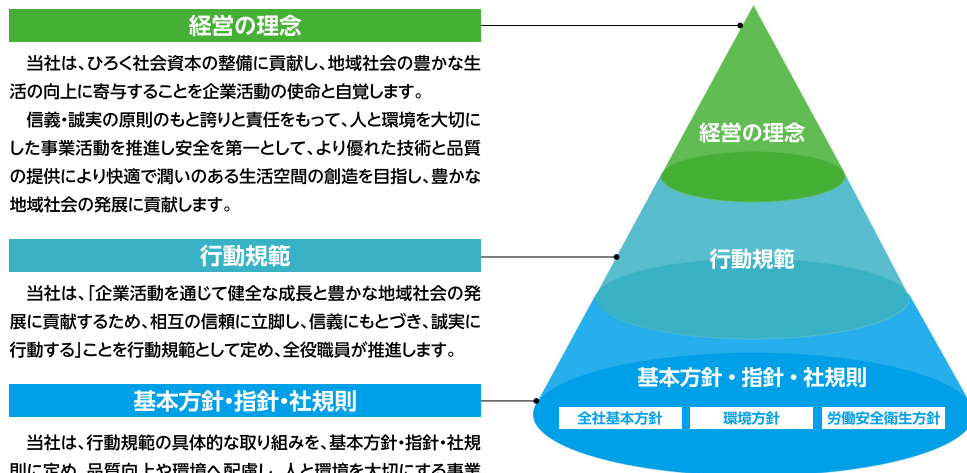


# CSRマネジメント

## 前田道路CSR理念体系図



### 全社基本方針 (品質方針)

顧客のニーズに応え、人と環境にやさしい道づくりを基本とし、顧客と地域社会に信頼感・安心感・満足感を与える品質を提供する。

上記方針を確実にするための優先項目

- 労働安全衛生活動の推進と、地球環境の保全に努めます。
- 品質と顧客満足度の向上のために、マネジメントシステムを継続的に改善します。
- 法令・規制、倫理規範を遵守した企業活動により、社会的責任を果たします。

品質に関する報告はP21へ

### 環境方針

当社は、「舗装及び土木構造物の施工並びに合材及び再生材の製造」活動において、環境マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的改善を行い、地球環境および社会・生活環境の保全に積極的に取り組みます。

- 事業活動の全段階において、地球環境および地域環境に与える影響を的確に捉え、技術的・経営的に可能な範囲で、環境保全活動の継続的な改善向上を推進します。
- 地球温暖化、酸性雨、廃棄物等の環境問題を解決するために、環境保全、省エネルギー、省資源、リサイクルを可能とする技術および製品の開発に積極的に取り組みます。
- 環境関連の法律、規制、協定の要求事項を遵守するに止まらず、さらに自主基準を制定し環境保全の向上に努めます。
- 環境教育、啓蒙活動などを実施し、全従業員および協力業者へ環境方針の周知と環境に関する意識向上を図ります。
- これらを推進するため、すべての組織および従業員が活動できる環境管理組織を整備します。

環境に関する報告はP23へ

### 労働安全衛生方針

当社は、「経営の理念」「全社基本方針」に基づき、道路および土木構造物の施工並びにアスファルト合材の製造の事業活動において、労働安全衛生マネジメントシステムを効果的に運用し、継続的改善を行い、災害・事故防止と健康維持のために全員で積極的に取り組みます。

- 災害・事故防止と健康維持のために、次の事項を重点項目と定め、P-D-C-Aのサイクルを効果的に運用し、労働安全衛生パフォーマンスの改善を行います。
  - 重大災害の撲滅
  - 交通事故の撲滅
  - 長時間労働の撲滅と作業環境の向上
  - 危険性、有害性の調査による潜在的な事故防止
  - ヒヤリハットの情報収集による、予防型の安全活動
- 労働安全衛生に関連する法規制、協定、業界の規範、当社で定めた規則を遵守します。
- 当社は従業員およびすべての要員にこの方針を周知徹底し、労働安全衛生マネジメントのプログラム運用のための教育・訓練を実施し、パフォーマンスの改善に寄与します。

労働安全衛生に関する報告はP29へ

## 中期CSR・環境計画

中期経営計画に基づいたCSR・環境計画を策定し、中期経営計画の重点施策である「体質改善」「生産性改革」「新たな収益基盤の確立」を軸に「環境」「社会」「経済」を統合させ、サステナブルな社会(より良い社会)の構築を推進していくという基本方針のもと、実施項目を設定しています。施策項目は社会情勢や取り組みの進

捗、ステークホルダーからのご意見を踏まえて継続的に見直しを図っています。なお、インフロニア・ホールディングスの中期環境計画(2022~2024年度)および社長方針、本部長方針を反映して計画期間を改定し、2022~2024年度としました。

中期CSR・環境計画実施項目		2022年度成果
体質改善	①法令遵守の徹底	●環境関連の重大事故の発生:0件
	②環境教育の実施	●各階層別教育率:100% ●新入社員研修実施:5回/年
	③品質管理の徹底	●品質の重大不具合:0件
生産性改革	①脱炭素社会に向けた取り組み	●再生可能エネルギーの積極的な導入と確保によるCO <sub>2</sub> 排出量削減 ●バイオ重油を製造する運営子会社の日本バイオフューエル株式会社を設立
	②循環型社会(CE <sup>®</sup> )の構築に向けた取り組み	●廃棄物の再資源化率:96.7%
	③生物多様性保全の取り組み	●生物多様性に関する環境教育プロジェクト「Bonin Infrastructure Initiative」現地(小笠原)プログラムを実施
新たな収益基盤の確立	①新商品・新製造技術	●非化石証書を活用した低炭素合材の製造・販売(全国展開) ●バイオ重油を製造する運営子会社の日本バイオフューエル株式会社を設立
	②自社既存技術の活用と環境共有価値の創造	●フォームドアスファルト混合物の設備導入:47工場
	③事業活動におけるSDGsの浸透	●社内冊子や掲示版にて情報発信 ●インフロニア・ホールディングス全体でESGセミナー動画による全社員教育 ●eco検定資格取得の推進

※ 資源循環の効率化だけでなく、原材料に依存せず、既存の製品や遊休資産の活用などによって価値創造の最大化を図るというEUで提唱された経済システム。

## ステークホルダーエンゲージメント

ステークホルダーからのご意見、ご要望を確認し、その中から抽出したニーズや課題、関心事を可能な範囲で反映して事業活動に取り組むことは、ステークホルダーとの良好な関係構築に寄与し、持続的経営・協働につながります。当社では、支え合っているス

テークホルダーと双方向でのコミュニケーションを図るため、さまざまな機会を設けています。なお、当社にお問い合わせいただいたご意見で早急に対応が必要な事案は、管轄部門で速やかに対応しています。

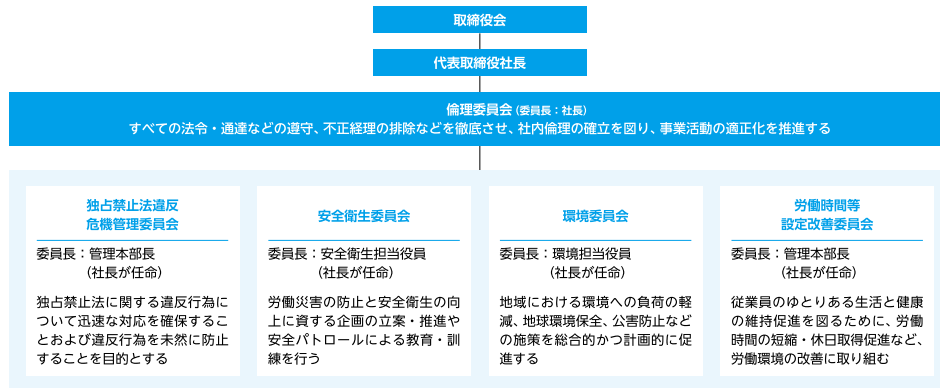
### ステークホルダーとの双方向対話手法

- |   |   |  |  |
|---|---|--|--|
| <b>① お客様</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●営業活動</li> <li>●お客様アンケート</li> <li>●情報シート<br/>(各事業所へ直接の意見・情報提供)</li> </ul> | <b>② 従業員</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●労働組合との団体交渉</li> <li>●意識調査</li> </ul> | <b>③ 協力会社・資材調達業者</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●共栄会、涯友会<sup>®</sup>評価表</li> <li>●安全衛生協議会</li> </ul> | <b>④ 地域社会・住民</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●工場、現場において、近隣住民や行政を対象とした見学会や研修会実施</li> </ul> |
|---|---|--|--|

※ 当社の依頼業務を主体として協力し、会員要件を満たす協力会社、工事部門は共栄会、製造部門は涯友会。

## CSRマネジメント

### CSR推進体制



### 環境マネジメントシステム (ISO14001)

環境マネジメントシステムの活動は、本店、支店の各部、営業所、作業所、合材工場が、それぞれの環境影響について目的と目標を定め、その達成を目指しています。総合的な目標と達成状況は、サステナビリティレポートに示す通りです。各部署の目的および目標は、環境マネジメントシステムの活動初期に見られた「紙・ゴミ・電気」から脱却するべく、CO<sub>2</sub>削減やリサイクルの推進など、直接的に環境影響へ貢献できる項目を推進しています。

2022年度、内部監査および外部審査での重大な不適合はなく、環境関連法令や自主規制等の違反は認められませんでした。

#### 環境マネジメントシステムの概要



### 品質マネジメントシステム (ISO9001)

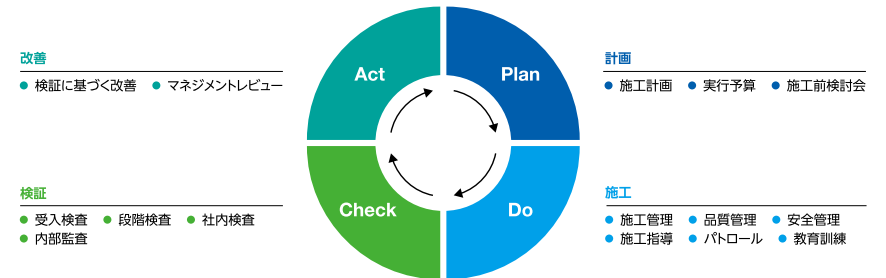
「公共工事における舗装及び土木構造物の設計及び施工」を認証範囲として、ISO9001の認証を受けています。発注者やエンドユーザーの要求事項に応えることはもちろん、当社のICT技術を駆使した情報化施工 (建設機械搭載レーザースキャナによる出来形管理システム等) を発注者に対して積極的に提案しています。

工事施工中の点検は、支店工務部と安全環境品質部が実施しています。工事規模によっては本店工事も点検を実施し、必要

に応じて軌道修正を指示することで、工事成績評定点の向上を目指しています。民間工事および合材工場については、不適合や苦情などの情報が「情報シート」報告システムを通じて、現場から支店、本店に報告されます。これらのフィードバックを生かし、顧客満足度の向上につなげています。

2022年度、法律および規制等に関する違反、罰金はありませんでした。

### 品質マネジメントシステムの概要 (PDCAサイクル)



#### message

#### いつもの道路を、いつまでも提供し続けるために。

資源の少ない日本において、また、地球規模でサステナブルな社会を構築する上で、省資源は欠かせません。道路は「リサイクルの優等生」と言われており、道路に使用されているアスファルト合材は、その4分の3が既存の道路を再利用して製造されています。この再生技術が確立してから30年。現時点での再生アスファルト合材は一定の品質を保つことができているのですが、今後さらに再生を繰り返すことで、品質が低下することが懸念されています。さらに、世界的に脱石油化が進む中、原油から抽出するアスファルトの総量が減り、新たにアスファルト合材を製造するための資源が枯渇、それに伴う値上がりも予想されます。これらの課題を抱えながらも、安全・安心な「いつもの」道路を「いつまでも」つくり続けるために、当社は品質における重要テーマの一つに「再生」を掲げ、取り組みを進めています。

例えば、独自のフォームドラスファルト技術を用いたアスファルト混合物「LEAB」は、通常よりも低い温度で製造するため、繰り返し再生による骨材の劣化を軽減することができます。また、締固め可能な温度領域が広く、広範囲での均一な施工が可能なおから、道路の再生頻度抑制にも貢献します。当社では、製造と施工の両面から再生品質を向上させるべく、現在、再生材を使った「LEAB」の安定製造に注力しています。これまでの30年とこれからの30年は、再生のスタート地点が大きく変化していきます。そのような中であって、「再生品だから劣る」ではなく、「新規製品を使った道路と同品質の道路を、再生品でもつくり上げる」。これが、サステナブル社会の実現を目指す当社の品質への考え方です。

取締役常務執行役員  
技術本部長 兼 CSR・環境担当  
**守安 弘周**

### 労働安全衛生マネジメントシステム (ISO45001)

労働安全衛生マネジメントシステムの活動は、ISO45001の要求事項に基づき、安全衛生リスクの拾い出し、リスクの見積もり、リスク低減策の決定、安全衛生目標設定というプロセスを各部署で実施し、毎月その管理項目に応じて目標の達成状況を把握しています。支店および本店は実施状況を確認すべく、安全衛生パトロールを計画的に実施し、不適合を是正するとともに、中央安全衛生委員会に報告して水平展開を図っています。

休業4日以上が見込まれる労働災害については、事故発生時に本店安全部が臨場して現場と合同で事故原因を調査した上で、再

発防止策を決定します。休業4日未満の労働災害では、WEB会議によって同様のプロセスを実行します。

2022年度、安全衛生に関する法律や規制違反等での送検事例、罰金の支払いはありませんでした。また2022年9月には、第三者審査機関によるサーベイランスにより認証の継続が認められています。

2023年度からは、事故発生前の予防的な活動として、安全管理のマニュアルである「安全管理必携」を改訂し、作業標準シートの全面見直しを進めています。